

“次世代が選ぶまち”KOBEの実現 ～地域社会の未来を担い世界へはばたく実践者の育成～

令和3年度の成果と課題

成果

- ・ 特色企画部の設置による実施体制の整備とSTEAM教育開発の独自性の明確化
- ・ コンソーシアム活用による学校全体の探究活動の充実
- ・ ベトナムの高校との交流校協定を締結

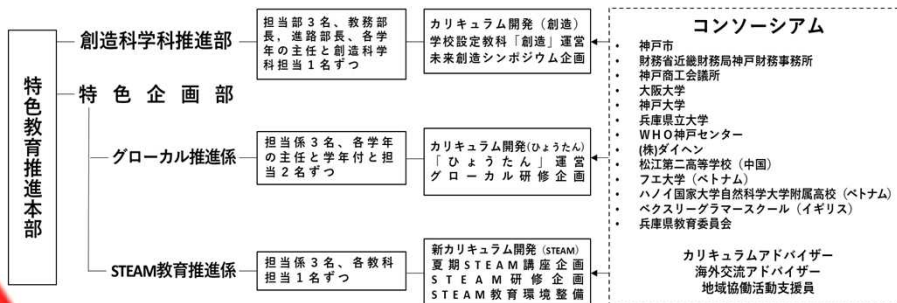
課題

- ・ グローバル型探究活動の一層の充実とデータサイエンス分野の学習の導入
- ・ 教科横断的なカリキュラム・マネジメント体制の構築
- ・ ベトナム交流校との協働研究の推進

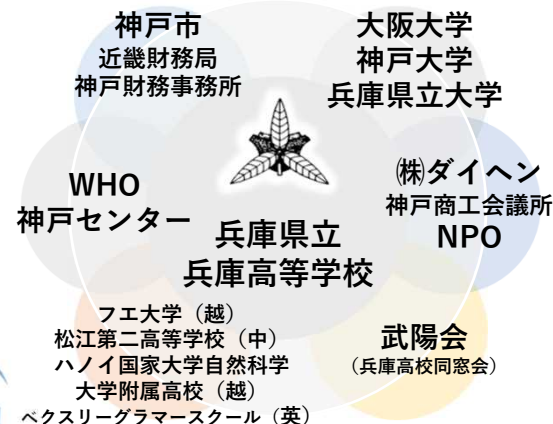
生徒に習得させる力

- ・ 諸外国の人々の異なる価値観を受容し、自他の立場を踏まえて考察できる**批判的思考力**
- ・ コミュニティが抱える課題の解決に向けて世代や文化を越えて協働し、より良い社会の創造に向け積極的に行動を起こす**実践力**
- ・ 1つの課題を地域、国、地球全体のそれぞれのレベルで捉え、社会をより良い方向に導き新しい価値を生み出す**創造力**
- ・ ICTを活用して正しく情報の取捨選択をし、Society5.0時代をたくましく生き抜く**情報活用力**
- ・ 他者の意見に耳を傾けつつ自らの考えを他者に伝達し、共に目標に向かって協力して課題解決にあたる**協働力**

令和4年度校内実施体制



コンソーシアム



地域協働学習実施支援員

- 神戸市企画調整局つなぐラボ
- 海外交流アドバイザー
- ひょうご海外ビジネスセンター
- カリキュラム開発アドバイザー
- 安藤福光（兵庫教育大学）

令和4年度 目標と取組

- ・ コンソーシアム各機関との連携によるグローバル型探究学習のカリキュラム開発の充実
- ・ 創造科学科「理数探究」の導入
- ・ BYODを活用した教育活動の推進
- ・ ベトナム交流校との協働研究プログラムの推進

令和4年度の成果

- ・ STEAM教育開発の独自性の明確化と普通科探究活動との連携
- ・ コンソーシアム活用による創造科学科学校設定教科「創造」と普通科「総合的な探究の時間」の充実
- ・ 創造科学科「理数探究」の導入による教科横断的な自然科学分野学習の発展

令和4年度の課題

- ・ グローバル型探究学習の一層の充実とデータサイエンス分野の学習の導入
- ・ 海外交流校受け入れ・派遣による交流活動の推進
- ・ 各教科における探究型学習の充実
- ・ 一人一台端末・教育用クラウドを活用した探究活動の推進

普通科（各学年280人）

- ① 総合的な探究の時間（全生徒）
 - ・ 新聞活用やSDGsの分野に基づくグループ編成、地域の社会的課題に関連したテーマ設定による探究学習を実施
- ② グローバルリサーチ（各学年選択受講生）
 - ・ 外部講師による講義やワークショップ等を実施
 - ・ 校内発表会を実施し、成果を普及させる

創造科学科（各学年40人）

- ① 創造基礎
 - ・ 地域、国家、世界の課題について、外部講師による講義やフィールドワーク、課題解決のための実践活動を実施
- ② 理数探究
 - ・ 自然科学的研究の基礎を学習
- ③ 創造応用
 - ・ 大学教員や院生の指導も受けながら世界の課題に繋がるテーマについて研究し、論文にまとめる
 - ・ 外部発表会への積極的参加
- ④ 外国人留学生との交流
 - ・ 地域の外国人に対して創造基礎、理数探究の学習成果を英語で発表し、議論を深める

STEAM教育に沿ったカリキュラムを開発

- ① STEAM教育
 - ・ 統計やデータサイエンス、PBL型学習についてのカリキュラム開発
- ② BYOD活用
 - ・ 個人端末と教育用クラウドの活用を各教科で導入
- ③ KOBE研修の実施
 - ・ 医療・情報・ロボット分野について地元神戸で日本の最先端の科学技術を体験し、成果発表会を実施
- ④ STEAM係設置
 - ・ 生徒主体の活動の推進